



2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年12月11日

上場会社名 株式会社スマレジ 上場取引所 東
 コード番号 4431 URL <https://corp.smaregi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 博士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 田川 良行 (TEL) 06-7777-2405
 四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信を予定) (百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の業績 (2020年5月1日～2020年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	1,479	△19.0	345	△34.4	345	△34.5	236	△34.8
2020年4月期第2四半期	1,825	108.6	527	199.1	527	199.7	363	192.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年4月期第2四半期	24.65		24.09					
2020年4月期第2四半期	38.60		36.99					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	3,970	3,312	83.4
2020年4月期	4,055	3,321	81.9

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 3,312百万円 2020年4月期 3,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年4月期	—	0.00	—	—	—
2021年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の業績予想 (2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,251	0.0	678	△9.6	678	△9.7	491	△10.1	51.78

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- 業績予想の「1株当たり当期純利益」については、新株予約権の行使による影響を考慮して算定しております。
- 2021年4月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響について、発表日時点において当社が把握している情報をもとに算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ、「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年4月期2Q	9,744,700株	2020年4月期	9,433,400株
2021年4月期2Q	73,939株	2020年4月期	39株
2021年4月期2Q	9,611,429株	2020年4月期2Q	9,412,486株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、決算説明会の開催を中止とし、動画配信に変更いたしました。動画の配信開始日は、2020年12月18日(金)13時以降を予定しております。

また、決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間(2020年5月1日から2020年10月31日まで)においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による世界的な経済の悪化を受け、依然として厳しい状況にありますが、徐々に持ち直しの動きが見られ、これが継続することが期待されます。

このような環境の中、コロナ禍の商談においては、非対面非接触の施策が重要ではありますが、当社では新宿に新たなショールームをオープン致します。当社サービスの導入を検討する際には、実機でのプレゼンテーションが有効で、アフターコロナを見据えて、主要都市に低コスト型のショールームを展開してゆきます。

また、新たなサービスである「EC PLUG」の試験運用のため、モニター募集を開始しています。この機能は、複数のネットショップの受注を自動で取り込み、スマレジ上で在庫や売上を一元管理できる機能で、ユーザーの利便性向上に繋がることが期待されます。

本年7月に公開した「スマレジ・アプリマーケット(スマレジ4)」においては、開発パートナー、登録アプリケーションの数が順調に増加しています。使いやすさ、柔軟性、拡張性という既存の強みはそのままに、さらなる利便性の追求と顧客満足度の向上を図ってゆきます。

コロナ禍においても、当社サービスの登録店舗数は回復傾向であり、アクティブ率は上向きの状況を記録しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は1,479百万円(前年同四半期比19.0%減)、営業利益は345百万円(前年同四半期比34.4%減)、経常利益は345百万円(前年同四半期比34.5%減)、四半期純利益は236百万円(前年同四半期比34.8%減)となりました。

なお、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

販売高前年同期比

(単位:千円)

販売実績	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	前年同期比(%)
クラウドサービス月額利用料等	705,479	873,539	123.8
クラウドサービス関連機器販売等	1,109,921	599,426	54.0
その他	9,931	6,422	64.7
合計	1,825,332	1,479,389	81.0

「スマレジ」の登録店舗数、アクティブ店舗数及び累積取扱高の推移は以下のとおりであります。

登録店舗数の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2020年10月
スタンダード	30,381	44,113	55,897	67,895	72,182
プレミアム	764	1,257	1,710	2,755	2,760
プレミアムプラス	1,400	1,977	3,077	4,976	5,544
フードビジネス	845	1,332	2,035	2,687	2,892
リテールビジネス	2,223	2,934	4,028	5,481	6,070
フード&リテール	33	41	74	104	106
店舗合計	35,646	51,654	66,821	83,898	89,554

※スタンダードは無料プランとなっております。それ以外は有料プランとなっております。プラン毎にサービス内容が異なります。また店舗数の定義は、有料プラン無料プランに関わらず、実際に「スマレジ」でサインアップを行い、登録された店舗数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

アクティブ店舗数（プラン別登録店舗数に対するアクティブ店舗数の比率(%)）の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2020年10月
スタンダード	2,151 (7.1)	3,001 (6.8)	3,681 (6.6)	4,889 (7.2)	5,564 (7.7)
プレミアム	712 (93.2)	1,178 (93.7)	1,598 (93.5)	2,308 (83.8)	2,557 (92.6)
プレミアムプラス	1,305 (93.2)	1,850 (93.6)	2,771 (90.1)	4,640 (93.3)	5,361 (96.7)
フードビジネス	779 (92.2)	1,265 (95.0)	1,931 (94.9)	2,473 (92.0)	2,760 (95.4)
リテールビジネス	2,116 (95.2)	2,839 (96.8)	3,872 (96.1)	5,210 (95.1)	5,857 (96.5)
フード&リテール	32 (97.0)	36 (87.8)	64 (86.5)	96 (92.3)	101 (95.3)
アクティブ 店舗合計	7,095 (19.9)	10,169 (19.7)	13,917 (20.8)	19,616 (23.4)	22,200 (24.8)

累積取扱高の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2020年10月
累積取扱高 (百万円)	569,857	1,071,316	1,769,706	2,610,754	3,002,471

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて91百万円減少し、3,384百万円となりました。この主な要因は、売掛金が99百万円増加したものの、現金及び預金が186百万円、商品が43百万円減少したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べて6百万円増加し、585百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が39百万円減少したものの、無形固定資産が22百万円、繰延税金資産が20百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ85百万円減少し、3,970百万円となりました。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて68百万円減少し、578百万円となりました。この主な要因は、前受金が61百万円増加したものの、未払金が113百万円、未払法人税等が45百万円減少したこと等によるものであります。当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、78百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ76百万円減少し、657百万円となりました。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、3,312百万円となりました。これは、四半期純利益を236百万円計上したものの、自己株式の取得により315百万円減少したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ186百万円減少し、2,983百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は105百万円(前年同四半期は401百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益345百万円の計上、減価償却費70百万円の計上及び賞与引当金39百万円の増加等があった一方で、未払金114百万円の減少及び売上債権37百万円の増加等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は46百万円(前年同四半期は47百万円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出43百万円及び差入保証金の差入による支出6百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は245百万円(前年同四半期は91百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出315百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大による影響が見通せず、今後も極めて不透明な状況が続くと考えられるため、2020年6月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,170,071	2,983,338
売掛金	100,924	200,746
商品	186,207	142,661
前払費用	19,436	32,814
その他	831	26,099
貸倒引当金	△775	△683
流動資産合計	3,476,696	3,384,978
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	205,333	166,347
工具、器具及び備品（純額）	3,864	3,296
有形固定資産合計	209,198	169,644
無形固定資産		
商標権	1,018	954
ソフトウェア	124,672	133,500
ソフトウェア仮勘定	8,055	21,778
無形固定資産合計	133,746	156,234
投資その他の資産		
出資金	18	18
敷金	202,750	206,096
繰延税金資産	32,548	52,941
その他	381	100
投資その他の資産合計	235,698	259,156
固定資産合計	578,643	585,034
資産合計	4,055,339	3,970,013

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,608	94,838
未払金	191,163	77,678
未払費用	34,863	33,502
未払法人税等	190,828	144,965
未払消費税等	64,406	44,875
前受金	44,293	106,126
預り金	29,002	19,779
賞与引当金	—	39,918
資産除去債務	—	16,780
その他	22	—
流動負債合計	647,186	578,463
固定負債		
資産除去債務	86,745	78,629
固定負債合計	86,745	78,629
負債合計	733,932	657,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,098,058	1,133,126
資本剰余金	1,068,388	1,103,456
利益剰余金	1,155,101	1,392,031
自己株式	△140	△315,693
株主資本合計	3,321,407	3,312,920
純資産合計	3,321,407	3,312,920
負債純資産合計	4,055,339	3,970,013

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	1,825,332	1,479,389
売上原価	827,254	531,117
売上総利益	998,077	948,272
販売費及び一般管理費	470,596	602,488
営業利益	527,481	345,783
営業外収益		
受取利息	12	15
その他	174	157
営業外収益合計	187	173
営業外費用		
支払利息	35	15
その他	—	200
営業外費用合計	35	215
経常利益	527,633	345,741
税引前四半期純利益	527,633	345,741
法人税、住民税及び事業税	181,604	129,204
法人税等調整額	△17,250	△20,392
法人税等合計	164,353	108,811
四半期純利益	363,279	236,929

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	527,633	345,741
減価償却費	29,627	70,615
長期前払費用償却額	792	280
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	168	△92
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,405	39,918
受取利息及び受取配当金	△12	△15
支払利息	35	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,460	△37,988
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,415	43,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,215	△23,035
未払金の増減額 (△は減少)	5,264	△114,804
その他	△16,785	△45,427
小計	453,467	278,753
利息及び配当金の受取額	12	15
利息の支払額	△35	△15
法人税等の支払額	△52,255	△173,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,189	105,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,149	—
無形固定資産の取得による支出	△32,910	△43,564
差入保証金の差入による支出	△13,458	△6,384
差入保証金の回収による収入	407	3,038
その他	△792	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,904	△46,910
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△96,414	—
株式の発行による収入	5,220	70,136
自己株式の取得による支出	—	△315,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,194	△245,417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262,090	△186,732
現金及び現金同等物の期首残高	2,721,571	3,170,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,983,662	2,983,338

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式73,900株の取得を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が315,553千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が315,693千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当社は、2020年5月15日開催の取締役会において、恵比寿ショールーム及び札幌サポートセンターの退去について決議を行っております。これにより、利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復費用として計上していた資産除去債務について、より精緻な見積りが可能になったため、見積額の変更をしております。

この見積りの変更により資産除去債務残高が9,184千円増加し、従来の方法に比べて当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ25,816千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。